

宮代町教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(令和7年度事務事業)

令和8年8月

宮代町教育委員会

目 次

はじめに	・ ・ ・	1
I. 令和7年度の宮代町教育行政重点施策	・ ・ ・	2
II. 評価方法について	・ ・ ・	2
III. 施策ごとの事務事業の点検・評価		
方針Ⅰ 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成		
基本目標1 確かな学力と自立する力の育成	・ ・ ・	3
基本目標2 健康で心豊かな児童生徒の育成	・ ・ ・	15
基本目標3 地域に開かれた、質の高い学校教育の推進	・ ・ ・	23
方針Ⅱ 町民の創意を生かした学びの場づくり		
基本目標4 家庭・地域の教育力の向上	・ ・ ・	25
基本目標5 生涯学習とスポーツの振興	・ ・ ・	27

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされています。

宮代町教育委員会では、同法の趣旨に基づき、「宮代町教育行政重点施策」に沿って教育行政の執行状況を自己点検し、今後の教育行政に生かすとともに、町民のみなさまに説明責任を果たすべく、令和7年度における教育委員会の事務に関する点検・評価を実施し報告書にまとめました。本報告書を通して、町民のみなさまに各事業がどのように展開されているのか、その執行状況を公表し、御意見をいただき、よりよい宮代町の教育を充実、実現してまいりたいと考えております。

なお、この点検・評価を行うにあたりましては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するとともにその客観性を確保する観点から、3名の外部評価委員から御意見をいただきました。

今後とも教育行政の執行状況について点検・評価を実施し、効果的な教育行政を推進してまいります。

令和8年8月

宮代町教育委員会

I. 令和7年度の宮代町教育行政重点施策

宮代町教育委員会は、「憧れを未来につなぎ、生きる力をはぐくむ宮代教育」を基本理念として、2つの基本方針の下、5つの基本目標に基づいて教育各分野の施策に取り組んできました。

基本目標	
方針Ⅰ 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成	
1 確かな学力と自立する力の育成	
2 健康で心豊かな児童生徒の育成	
3 地域に開かれた、質の高い学校教育の推進	
方針Ⅱ 町民の創意を生かした学びの場づくり	
4 家庭・地域の教育力の向上	
5 生涯学習とスポーツの振興	

町民一人一人が、さまざまな社会環境の変化に対応し、人間と環境が調和した景観を創造していきながら、ゆとりと生きがいのある充実した生活を送るため、自ら学び、豊かな感性と創造性に富み、地域社会に貢献できる21世紀を担う心豊かな人間の育成が図られるよう、引き続き町民の期待に応える教育を推進してまいります。

II. 評価方法について

1. 自己評価

教育委員会では、令和7年度に実施した各事務事業の実施結果を、「I. 宮代町教育行政重点施策」に掲げる各目標に照らした「達成度合い」を以下の4段階に分けて自己評価を行いました。

◎ 前進	○ 達成	△ 未達成	× 未実施
実施内容の向上・改善 新たな取組の実施	教育重点施策に掲げる 目標を達成	予定・計画の水準未達 期限までに未完了	事業未実施

※新型コロナウイルス感染症の影響により事業が中止となり、自己評価が
難しいものについては、自己評価欄を「－」としています。

2. 外部評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、教育委員会の事務の点検評価にあたっては「教育に関し学識経験を有するものの知見を活用する（同法第26条）」とされています。令和7年度に実施した各事務事業の点検評価にあたっては、「1. 自己評価」に基づき、3名の方に点検評価を行っていただきました。

氏 名	分 野
小島 隆子	学校教育（元小学校長）
秋山 優	保護者（宮代町PTA連絡協議会）
石田 俊幸	生涯学習（宮代町スポーツ協会）

〔敬称略〕

方針1 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成

基本目標1 確かな学力と自立する力の育成

◎令和7年度 新規・拡充

施策(1) 一人一人のよさや可能性を伸ばし、個性を生かす教育の充実		自己評価
ア 授業改善と指導方法の工夫・改善 ・学校課題研究の推進 ・町研究委嘱 各小中学校での授業研究実践 ・学習指導要領に基づく授業改善の推進 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	学校教育	○
イ 1人1台情報端末を活かした学びの推進 ・個別最適な学びの実現 ・ICT活用計画の作成 ・教員スキル向上のためのフォローアップ計画の充実 ・情報モラル教育の充実	学校教育	○
ウ 学力学習状況調査等の結果の分析と活用 ・学力向上等検討委員会 調査結果の分析による各校課題の解決に向けた具体的な指導内容や指導方法についての情報交換と各校の取り組み内容、成果、課題等の研究	学校教育	○
エ 少人数指導・習熟度別指導によるきめ細やかな指導の充実 ・町費非常勤講師配置 少人数指導やチームティーチングの指導による、個に応じたきめ細やかな指導	学校教育	○
オ 中学校区における特色ある小中一貫教育の推進 ・小中一貫教育推進委員会 各小中学校で特色を生かした年間計画の作成と実践、課題共有 ・9年間を見通したカリキュラム ・交流活動、交流授業、授業参観 島村盛助を顕彰する英語活動発表会、小中合同研修会	学校教育	○

◎令和7年度 新規・拡充

令和7年度の執行状況	点検・評価委員意見
▼宮代町教育委員会による委嘱研究推進（各小中学校） 町委嘱研究発表会開催 百間小 令和7年11月7日 テーマ 「自ら考え、新しい見方・考え方を発見し、「自分でできる！」を実感できる児童の育成」 ～仲間と伝え合う中で、考えを深める授業の創造～（4年次） 前原中 令和7年11月21日 テーマ 「学ぶ力を高め、主体的・協働的に学び合える生徒の育成」 ～個別最適な学びの実現を目指して～（3年次） ▼宮代町教職員全体研修会開催（令和7年8月26日） ▼宮代町教育課程検討委員会（令和7年12月16日）	・町委嘱研究発表会を通して町全体の課題と授業改善が図られ共有化が定着している。研究のテーマがより具体化され明確である。
▼ICT活用法研修会（年間8回開催） 活用方法や情報モラル等について	
▼学力向上等検討委員会（年間3回開催） 調査結果から明確となった自校の課題や課題解決に向けた具体的な指導内容や指導方法についての情報交換と各校の取組内容、成果、課題等の共有 第1回学力向上対策委員会 期日：令和7年5月1日 内容：令和6年度各小中学校の学力向上の取組 第2回学力向上対策委員会 期日：令和7年8月27日 内容：埼玉県学習状況調査の活用について 第3回学力向上対策委員会 期日：令和7年12月9日 内容：県・全国学力学習状況調査の分析と各小中学校の取組	・学力テストの平均点が県平均より高いということから、学力向上等検討委員会をはじめ、少人数指導、習熟度別学習指導の成果が出ている。 ・学力向上対策が意図的、計画的に実施され、目的に好結果（学力向上）をもたらしている。発達段階にそって学力の伸びが高まっている。9年間を見通した取り組み（小中一貫）等、教育活動全体が良い結果に繋がっている。
▼小学校 非常勤講師を8人配置し、個に応じた指導を実施 非常勤講師が担任と協力し、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習形態を柔軟に取り入れた、特に算数の授業において個に応じたきめ細かな指導 ▼中学校 非常勤講師を6人配置し、個に応じた指導を実施 非常勤講師と教科担任が協力し、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習形態を柔軟に取り入れ、個に応じたきめ細かな指導が充実	
▼小中一貫教育推進委員会（年間2回開催） 第1回 令和7年6月12日 各中学校区における本年度の年間計画及び具体的な取組について 第2回 令和8年3月5日 各中学校区における本年度の実践内容と次年度に向けた課題について ▼交流活動、交流授業、出前授業、9年間を見通したカリキュラム等、各中学区で学校の実態に即した特色ある教育活動を推進	

施策（２）伝統と文化を尊重し、国際性をはぐくむ教育の推進		自己評価
ア 伝統と文化を尊重する教育の推進 ・郷土の偉人「島村盛助」を顕彰する英語活動発表会 ・小学校 社会科副読本の活用	学校教育	○
イ 外国語活動・英語教育の推進 ・英語教育研修会の実施 ・英語科授業の充実 小学校２校につき１名のALTを配置 日本人英語指導助手の配置 ・英語教育の充実を図るため、希望する児童生徒に対し英語検定受験料の助成 ・中学生の英語検定受験料助成の拡充（３年間で１回から年度毎に１回に変更、町内中学校在籍者以外の中学生への対象拡大）	学校教育	○

令和7年度の執行状況	点検・評価委員意見
▼郷土の偉人「島村盛助」を顕彰する英語活動発表会 <須賀中学校区(11月11日)><百間中学校区(10月27日)><前原中学校区(11月12日)> ※オンラインで実施 ▼社会科副読本編成委員会の開催（年間8回開催）	・郷土の偉人「島村盛助」やみやしろカルタ大会の実施等、とても評価できる。住んでいる地域の歴史を知るとは郷土愛に繋がると思われる。 ・郷土の偉人を顕彰する英語活動発表会はあらゆるジャンルを網羅した町ならではの教育活動。今後も継続を期待したい。 ・社会科副読本【川口市について】「国際交流の市」ということで良い点が多く記載されているが、実際には問題も多く起こっている。外国の方と交流、生活することへの良い点だけでなく、問題になる点もしっかり把握し、どう改善していくのかを考えることも重要ではないか。
▼外国人英語指導助手（A L T）配置 （中学校各1名、小学校2校に1名） 具体的な場面や状況にあった適切な表現を自ら考えた言語活動など、コミュニケーション能力の向上のため活用 ▼日本人外国語活動補助員を配置（小学校各1名） 教員とA L T、児童とのコミュニケーションの活発化 ▼外国語活動・英語教育研修会の開催（令和7年8月27日） ▼英語検定受験料の補助（通年） 令和6年度 91件 令和7年度 91件	・英検の受検料補助はより学ぶきっかけの一つになると考えられるため、とても評価できる。

施策（3）社会の変化に柔軟に対応する学校教育の推進

自己評価

ア 1人1台情報端末の積極的活用 ・学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用 ・ICT活用計画の作成 ・教員スキル向上のためのフォローアップ研修の充実	学校教育	○
イ 情報教育の推進 ・情報モラル教育 児童生徒、保護者、教職員を対象とした情報モラル教育実施による、ネットトラブル防止を含めた、情報モラル意識の向上 ・GIGAスクール構想の推進 ・児童生徒1人1台の情報端末、ICT機器、電子黒板、メディアボックス（デジタル教材）を活用した教育活動の展開	学校教育 教育総務	○
ウ 環境教育の推進 ・「宮代江戸の日」の理念を踏まえた各校の取組 ・キッズエコサミット（12月）の開催	学校教育	○

令和7年度の執行状況	点検・評価委員意見
▼ICT活用法研修会（年間8回開催） 活用方法や情報モラル等について	・諸外国ではICTを導入していたが、近年紙媒体に回帰している。日本は2030年度からデジタル教科書を導入すること。活用方法や情報モラルだけではなく、ICT教育のメリット・デメリットを理解しながら遂行されるべきである。
▼プログラミング体験学習 日本工業大学の学生、アクティブシニアの方々の協力 小学校4、5、6年生 4時間実施 ▼GIGAスクール構想の推進 小中学校児童生徒及び教員分の情報端末を更新（予備機含む） 各小中学校1台電子黒板を整備	・地域の大学協力を得た学習が着実に進んでいる。地域の教育施設を生かした活動の推進は今後も充実させてほしい。
▼環境教育担当者会議の開催（令和7年5月13日） 各校の環境教育の取組、キッズエコサミット・子ども環境会議について ▼第1回子ども環境会議で江戸の日の取組についての確認 どのような取組にするかは各学校で工夫しながら実施をする ▼キッズエコサミット（令和7年12月12日） 各校の取組発表、SDGsに関するパネルディスカッション	

施策（４）特別支援教育の推進		自己評価
ア 適正な就学を目指した就学支援の充実 ・就学支援委員会（年３回） 特別な配慮を必要とする児童生徒への教育・医療・福祉等専門的分野からの適切な支援 ・特別支援学級 特別な支援を要する児童の教育的ニーズに応じた、適切な指導の実施 ・ことばの教室（百間小学校） 聴覚及び言語に課題のある児童に、課題の改善・克服に必要な技能を身につけさせる指導の実施	学校教育	○
イ 特別支援教育体制の確立と交流及び共同学習の推進 ・交流活動の実施 宮代特別支援学校と小・中学校との交流活動 ・特別支援学校との連携（支援籍学習・共催の研修会・サポートチーム訪問 等）	学校教育	○
ウ 特別支援教育サポーターの効果的活用 ・特別支援教育サポーター 特別な支援を要する児童の教育的ニーズに応じた支援の補助	学校教育	○

令和7年度の執行状況		点検・評価委員意見
▼就学支援委員会 ①令和7年6月5日、②11月6日、③令和8年1月15日 特別な配慮を要する児童生徒に対しての教育・医療・福祉等専門的分野からの適切な支援 ▼特別支援教育サポートチームによる各小・中学校訪問 (各校1回以上実施) 児童生徒の観察と、専門的な立場から対象児童生徒の問題分析と効果的な指導法や対処法について学校へ提案 ▼百間小学校「難聴・言語通級指導教室」2教室開設 登録児童数63名（授業数：週1時間/児童）		・ことばの教室は引き続き、今後も継続していただきたい。
▼交流活動（宮代特別支援学校、小中学校間） 百間小学校、前原中学校で実施 ▼支援籍の実施（各小中学校） 小学校3名、中学校4名 実施		・地元にある支援学校を生かした交流活動の実践が充実している。
▼特別支援教育サポーター配置（小学校各1名） 特別な配慮を要する児童に対しての適切な支援		・特別支援教育サポーターの配置は今後も継続していただきたい。

施策（５）教職員の資質向上		自己評価
ア 人事評価制度の活用 ・年間スケジュールに基づいた人事評価の充実	学校教育	○
イ 教職員研修の充実 ・臨時的任用教員研修、町非常勤講師研修、年次研修の充実 ・各種研修会への参加推進	学校教育	○
ウ 教職員モラルの向上 ・倫理確立委員会（各校） 年間計画に基づいた、ボトムアップ型の委員会実施	学校教育	○
エ 教職員の健康管理の充実 ・教職員健康診断の実施（７月） ・ストレスチェックの実施（１０月）	学校教育	○
オ 学校における働き方改革の推進 ◎宮代町立小・中学校教職員の働き方改革に係る取組の実施 ・ふれあいデーの設定 ・校務支援のためのＩＣＴ化 ・定時退勤推奨ウィークの実施	学校教育	○

令和7年度の執行状況	点検・評価委員意見
▼年間スケジュールに基づいた人事評価の充実 適切な人事評価実施のために研修会実施	
▼対象、階層別研修 臨時的任用教員研修、町非常勤講師研修、年次研修の充実 各種研修会の実施	・教員の発言や態度で傷つく児童・生徒もいるとの声を聞く。引き続き、研修の実施をお願いしたい。
▼倫理確立委員会及び服務研修会の実施（各小中学校）	
▼教職員健康診断（令和7年7月30日） ▼ストレスチェック（令和7年12月）	・児童、生徒への授業の準備から実施など、教職員の業務はかなり膨大だと思われる。全国的にも埼玉県としても先生の精神疾患での休職が多いと聞く。先生方の心身の健康を保つことは重要であると思われる。
▼宮代町立小・中学校における働き方改革基本方針の改定 ▼授業支援システムの導入 ▼ICTの活用 各種研修会をオンラインで実施	・課題を理解し、働き方改革の推進が図られ、意識・実践されている。継続することで、より一層の理解を期待する。

施策（6）学習環境の整備・充実		自己評価
ア 学校施設・設備の整備 ・小中学校施設の管理運営（保守、修繕・改修） ・教育系ネットワークシステム 校務支援システムの活用 ・ＩＣＴ教育の推進 プログラミング教育 教育用ＩＣＴ機器の計画的な整備 ◎学校トイレの計画的な改修 学校施設の衛生面の改善を図るため、小学校のトイレ改修工事の実施 ◎校舎外壁改修工事の実施 東小学校及び百間中学校校舎の外壁改修工事の実施、 並びに前原・須賀中学校における校舎外壁等改修設計の実施 ◎１人１台情報端末の更新	学校教育 教育総務	◎
イ 教材教具の整備と効果的な活用 ・教材教具・備品整備	学校教育	○
ウ 町立小中学校の適正配置 ◎小中学校の適正配置に関する取組の開始 須賀小学校再整備に向けた設計業務の実施	教育総務	◎
エ 就学に対する支援 ・就学援助制度の活用・推進	学校教育	○

令和7年度の執行状況		点検・評価委員意見																															
▼小中学校施設の管理運営（保守・修繕・改修） 随時、施設維持管理業務委託及び施設修繕・改修工事を発注 ▼教育系ネットワークシステムの活用 校務支援システムによる児童生徒情報管理、成績処理 ▼ICT教育の推進、プログラミング教育 日本工業大学の学生、アクティブシニアの方々の協力 小学校4、5、6年生 4時間実施 各校1台電子黒板を整備 ▼学校トイレの計画的な改修 百間、東、笠原小学校のトイレ改修工事の完了（10月） ▼校舎外壁改修工事の実施 東小学校、百間中学校における校舎外壁改修工事の完了（12月） 前原・須賀中学校における校舎外壁等改修設計の完了（3月） ▼1人1台情報端末の更新 小中学校児童生徒及び教員分（予備機含む）の端末を更新（3月）		・学校トイレの計画的な改修、校舎外壁改修工事の実施、1人1台情報端末の更新は大いに評価できる。（近隣自治体ではトイレの改修が遅れていると聞く。）																															
▼授業の内容を深め、学力向上を図るため教材教具の設備充実 国語・算数数学・理科・体育・音楽・家庭科等の教材教具 オルガン・書画カメラ・時計模型・ミシン・顕微鏡・アルトホルン・箏・電子黒板・ポスタープリンター・包丁まな板収納庫・弦定常波実験器等																																	
▼須賀小学校の再整備に向けた取組の実施 ・教職員ワークショップの実施（6月、7月） ・須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会の開催（会議3回） ・実施設計の完成（3月）																																	
▼就学援助費の支給（ ）内は前年度 <table><tr><td>小学校</td><td>対象者</td><td>金 額</td></tr><tr><td rowspan="3">就学援助費支給者</td><td>130名</td><td>6,811,092円</td></tr><tr><td>(132名</td><td>7,907,418円)</td></tr><tr><td>36名</td><td>722,056円</td></tr><tr><td rowspan="2">特別支援教育就学奨励費支給者</td><td>(40名</td><td>1,020,821円)</td></tr><tr><td>30名</td><td>2,229,600円</td></tr><tr><td rowspan="2">新入学児童生徒学用品費支給者</td><td>(32名</td><td>1,974,420円)</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">中学校</td><td>83名</td><td>6,496,167円</td></tr><tr><td>(68名</td><td>6,127,146円)</td></tr><tr><td>11名</td><td>464,229円</td></tr><tr><td rowspan="2">特別支援教育就学奨励費支給者</td><td>(8名</td><td>380,975円)</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			小学校	対象者	金 額	就学援助費支給者	130名	6,811,092円	(132名	7,907,418円)	36名	722,056円	特別支援教育就学奨励費支給者	(40名	1,020,821円)	30名	2,229,600円	新入学児童生徒学用品費支給者	(32名	1,974,420円)			中学校	83名	6,496,167円	(68名	6,127,146円)	11名	464,229円	特別支援教育就学奨励費支給者	(8名	380,975円)	
小学校	対象者	金 額																															
就学援助費支給者	130名	6,811,092円																															
	(132名	7,907,418円)																															
	36名	722,056円																															
特別支援教育就学奨励費支給者	(40名	1,020,821円)																															
	30名	2,229,600円																															
新入学児童生徒学用品費支給者	(32名	1,974,420円)																															
中学校	83名	6,496,167円																															
	(68名	6,127,146円)																															
	11名	464,229円																															
特別支援教育就学奨励費支給者	(8名	380,975円)																															

基本目標 2 健康で心豊かな児童生徒の育成

施策(1) 豊かな心をはぐくむ教育の推進		自己評価
ア 道徳教育の充実 ・宮代道徳の日（毎年11月19日）の取組 規範意識や生命を大切にする心、他人を思いやる心等の豊かな心の育成に向けた学校における取組の充実 ・郷土資料・彩の国道徳資料の活用 郷土道徳資料（「島村盛助」「どんぐりピアノ」「山崎山」）を活用した、心の教育の推進 道徳教育に対する教員の意識や授業力の向上	学校教育	○
イ 豊かな心をはぐくむ体験活動の推進 ・みどりの学校ファーム 米作り、野菜作りの実施 ・各小中学校での福祉体験学習 車椅子・点字・手話・アイマスク体験	学校教育	○
ウ 読書活動の充実 ・図書ボランティアの活用 各小中学校の図書室の整備・本の紹介等、読書環境の充実 ・町立図書館との連携強化 図書館司書の巡回と新図書館システムによるデータ連携	学校教育	○
エ 進路指導・キャリア教育の推進 ・中学生社会体験チャレンジ事業の推進 事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通じた、生徒の勤労観、職業観の育成	学校教育	○

◎令和7年度 新規・拡充事項

令和7年度の執行状況	点検・評価委員意見
▼「宮代道徳の日（11月19日）」の設定（各小中学校で実践） 規範意識や生命を大切にする心、他人を思いやる心等の豊かな心の育成に向けた取組 ▼郷土道徳資料（「島村盛助」「どんぐりピアノ」「山崎山」）の活用 身近な地域教材を活用した心の教育の推進 道徳教育に対する教員の意識や授業力の向上 ▼年次研修における授業研究会の実施	・郷土資料、彩の国道道徳資料の活用はとても評価できる。
▼学校ファームの推進（各小中学校） ▼各小中学校での福祉体験学習の実施 （車椅子・点字・手話・アイマスク体験）	
▼朝の読書活動、学校図書ボランティア活用、学校図書の充実（各小中学校） 小学校における「読み聞かせ、読み語り」の実施	・体験活動、図書館との連携、読書活動はとも評価できる。
▼職場体験学習を各中学校で実施（中学2年生） 事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通して、生徒の勤労観、職業観を育成	・職場で働く経験を通して、生きる力や職業観を養う取り組みであり、社会性を育む重要な機会である。

施策（２）総合的な不登校対策の推進		自己評価
ア 教育相談体制の充実、適応指導教室の活用 ・相談、支援体制の整備 - 教育相談員配置（教育支援センター１名）、学校訪問（月１回程度） - スクールカウンセラー（県より中学校に２名、小学校に年１１回配置） - さわやか相談員（各中学校１名配置） - ボランティア相談員（各中学校１名配置） - 不登校対策学習支援員（各中学校１名配置） - スクールソーシャルワーカーを小学校に１名配置（拠点校 須賀小） - 子供の家庭環境による問題に対処するために、関係機関との連携や教員を支援 ・教育支援センターの運営 ・一人一人の特性等に応じて、自立と学校生活への復帰の支援 ・児童生徒、保護者及び学校が抱える様々な悩み等に対する教育相談 ・専門相談支援員（臨床心理士）の配置による教育相談機能の充実	学校教育	◎
イ 不登校対策の推進 ・宮代町いじめ不登校対策連絡会議の開催（年３回） ・各校でのいじめ防止基本方針の周知	学校教育	○

令和7年度の執行状況	点検・評価委員意見
▼不登校対策学習支援員配置（中学校各1名） ▼教育相談員（教育支援センターに1名配置） 教育支援センター長、教育相談員による学校訪問（適宜） ▼さわやか相談員（中学校各1名配置）、ボランティア相談員（中学校各1名配置） さわやか相談室等で学び、教室への復帰支援 ▼スクールカウンセラー（県より各小中学校に1名ずつ配置） 須賀中 毎週、前原中・百間中 隔週 各小学校年11回 専門的な見地からの保護者への支援や相談活動 ▼スクールソーシャルワーカー配置（拠点：須賀小学校） ▼教育支援センターの運用 適応指導教室への通級申込延べ18件、教育相談件数延べ1,068件 ▼心理士の配置 臨床心理士を配置	・教育相談はとても充実されており、頼りにしている保護者もいる。今後も継続をお願いしたい。 ・心理士、臨床心理士の配置は、専門性を生かし、個人のメンタルケアあるいは、組織の課題解決まで、多岐にわたるサポートが期待できる。
▼いじめ・不登校対策会議の実施（年間3回、各学期1回） 各校の課題や成果ある取組についての共有化	

施策（３）健康・安全教育の推進		自己評価
ア 交通安全教育の推進 ・学校安全教育に関する計画の作成 ・交通安全教室（各小中学校）	学校教育	○
イ 防災教育の推進 ・避難訓練（各校） 地震・火災・竜巻対応訓練の実施	学校教育	○
ウ 防犯教育の推進 ・防犯ブザー配布（小学１年生） ・薬物乱用防止教室 ・不審者対応訓練	学校教育	○
エ 体力向上を図る指導の充実 ・体力向上推進事業 授業研究会・各校の実態に応じた取組の実施	学校教育	○
オ 学校保健の充実 ・学校保健委員会 各校において児童生徒の健康増進に関する取組の実施 ・感染症等の予防対策の実施	学校教育	○

令和7年度の執行状況		点検・評価委員意見
▼学校安全教育に関する計画の作成（各小中学校）		・交通安全教室、防犯ブザーの配布など、とても評価できる。
▼交通安全教室開催（各小中学校）		
▼避難訓練（各小中学校） 地震、火災、竜巻等を想定した避難訓練及び引渡し訓練の実施		
▼防犯ブザーの配布（新入学児童 全員）		・特に昨今、不審者情報が以前より多く目にする事が多くなった。不審者対応避難訓練は重要だと思われる。（統計上の治安と体感治安）
▼各小中学校において年に1回、薬物乱用防止教室を開催		
▼不審者対応避難訓練の実施（各小中学校）		
▼宮代町立小・中学校児童生徒体力向上推進委員会 体育部会 進んで体力づくりに取り組める児童生徒の育成 ～めあてを持って取り組み、喜びを感じられる体育授業の実践～ 保健部会 自らの健康を保持・増進できる児童生徒の育成 ～食から見直す健康づくり～		
▼令和7年度第72回埼玉県学校歯科保健コンクール 中規模校部門 優秀賞（百間中学校）		・コンクールを通して歯と口の健康に関心を持ち、正しいケアの習慣を身につける強力な動機づけになる良い取り組み。毎日の歯に対する意識向上、基礎的なセルフケア習慣が定着。
▼学校保健委員会の実施 各小中学校における学校保健委員会の実施		
▼健康観察等の実施 換気の徹底		

施策（４）学校教育における人権教育の推進		自己評価
ア 人権教育推進体制の充実 ・宮代町人権教育推進協議会との連携 - 人権問題研修会開催、各種研修会への参加	学校教育	○
イ 人権教育の指導内容、指導方法の工夫・改善 ・子どもの人権講座（対象：小学６年生、１２月） ・人権作文発表会 ・人権作文「あおぞら」の発行 ・人権教育に関する研修会	学校教育	○
ウ いじめ防止対策の推進 ・宮代町いじめ防止基本方針に基づく取組の実施	学校教育	○
施策（５）学校給食の充実と食育の推進		自己評価
ア 学校給食の充実 ・多様な献立メニュー 「世界の料理」「全国の郷土料理」「行事食」「我が家の自慢献立」など、楽しく食べながら社会性や豊かな人間性を醸成する取組の実施 ・地場産食材の活用促進 ・アレルギー対策 除去食、代替食の提供 学校給食アレルギー対応会議の開催（各小中学校） ・感染症対策の徹底 ・物価高騰に伴う食材費の公費負担	教育総務	○
イ 食育の推進 ・栄養指導（全小中学校、小学１年生から中学２年生） 学年毎テーマを設けて食育を推進 ・家庭向けの食育推進 給食だより（毎月）、食育だより（毎学期）の発行	学校教育 教育総務	○

令和7年度の執行状況		点検・評価委員意見
▼各種研修会と宮代町人権教育推進協議会による活動 人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくりの推進が図られ、研修等を通して人権について考えるきっかけを提供し、人権を尊重する意識を高揚 ▼人権文集（あおぞら第31集）の発行 700部 ▼宮代町人権教育推進協議会による啓発研修会		・人権教育に関しては今後も継続をお願いしたい。
▼教職員研修会開催（令和7年8月20日） テーマ「学校における人権教育 ～「こども」の人権の視点から～」 ▼子ども人権講座（令和7年12月3日、12月10日 小学6年生） ▼人権作文発表会（令和7年12月5日 小中学生）		
▼いじめに関するアンケートの実施（各小中学校） ▼いじめ・不登校対策会議の実施（年間3回、各学期1回） 各校の課題や成果ある取組についての共有化		
令和7年度の執行状況		点検・評価委員意見
▼多様な献立メニューの実施 「外国料理（ハワイ、スペイン、オーストラリア、カンボジア、カナダ、ブラジル、ドイツ、中国、イタリア、ペルー）」「各都道府県の郷土料理」「季節の行事食」「リクエスト献立」「我が家の自慢料理」など、楽しく食べながら社会性や豊かな人間性を醸成 ▼地場産食材の活用 季節の行事食、郷土料理等に宮代町産食材を活用 ▼アレルギー対策 除去食、代替食の提供 学校給食アレルギー対応会議の開催（各小中学校） 実態に則したアレルギーマニュアルの改訂（9月） ▼食材費高騰分の公費負担の実施 一食当たり 小学校47円、中学校55円 ▼学校給食費の保護者負担軽減の実施（9月・10月分） ・町立小中学校給食費の2ヶ月無償化 ・非喫食児童生徒及び町立以外の小中学校に在籍する児童生徒を対象に給食費2ヶ月相当額の補助		・グループ給食の方が子どもたちも楽しく食べられるのではないかなと思う。 ・宮代町の給食は町内外からとても評価が高い。現在、小学校に関しては給食費無償化となっているが、質を落とさずに子どもたちが満足できる給食を継続してほしい。
▼食育の推進 学年に応じたテーマによる栄養指導（小学1年生～中学2年生） 給食だより（毎月）、食育だより（毎学期）による食育推進		

基本目標 3 地域に開かれた質の高い学校教育の推進

施策（１）家庭・地域と連携した特色ある学校づくりの推進		自己評価
ア コミュニティ・スクールの設置の推進とその充実 ・学校運営協議会による「地域と共にある学校づくり」の推進	学校教育	○
イ 学校応援団の推進 ・町民みんなが先生制度 ・環境整備、学習ボランティア 他	学校教育	○
ウ 家庭・地域と連携した学校の安全対策の推進 ・こども１１０番の家 ・スクールガードの配置（各小学校で組織） ・通学路点検	学校教育	○
施策（２）大学等と連携した学校教育の推進		自己評価
ア 日工大サイエンスプロジェクトの推進 ◎理科の授業において、大学施設や設備を使った専門家による科学体験や環境をテーマにした講義、大学施設設備の見学の実施（令和６年度から全校で実施）	学校教育	○
イ プログラミング教育の充実 ・小学校において、日本工業大学と連携したプログラミング教育の推進	学校教育	○
施策（３）家庭・地域への情報発信の推進		自己評価
ア 学校教育情報の積極的な発信 ・各小中学校ＨＰ、学校だより等 ・授業公開、学校行事公開（運動会、文化祭、合唱祭等）	学校教育	○
イ 学校評価の充実 ・学校評価の実施と分析、活用、結果の公表	学校教育	○

◎令和7年度 新規・拡充事項

令和7年度の執行状況		点検・評価委員意見
▼コミュニティ・スクールの充実 ・学校運営協議会委員の委嘱（全小学校、全中学校） ・学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となった特色ある学校づくりの推進		
▼学校応援団活動 図書ボランティア、環境整備、部活動・学習支援、 スクールガード 他		・スクールガードリーダーの協力はとても大きい。（ボランティアの確保が今後の課題か）
▼「こども110番の家」の設置（128軒） 抑止力として、不審者による重大な事件発生なし ▼「スクールガード」（各小学校で組織、計181名） 「スクールガードリーダー」（小学校に各1名、県からの委嘱） ▼各小中学校における避難訓練 ▼緊急時における対応マニュアルの見直し		
令和7年度の執行状況		点検・評価委員意見
▼サイエンスプロジェクトの推進 教職員研修の実施（令和7年8月25日） 児童向け授業（小学6年生対象）の実施（令和8年2月25日、26日） 生徒向け授業（中学2年生対象）の実施（令和8年3月4日、5日）		・地元 日工大との連携はとても評価できる。
▼プログラミング体験学習 日本工業大学の学生、アクティブシニアの方々の協力 小学校4、5、6年生 4時間実施		
令和7年度の執行状況		点検・評価委員意見
▼学校要覧、学校パンフレットの作成（各小中学校） ▼学校だよりの作成（各小中学校） 地域へも配布 ▼学校ホームページの更新（各小中学校）		・地域の回覧板にも学校だよりが挟んであり、地域への情報発信がなされている。
▼学校関係者評価の実施 ▼保護者、地域への学校評価の公表 学校の課題の明確化及び次年度に向けての教育計画の更新		

方針２ 町民の創意を生かした学びの場づくり

基本目標４ 家庭・地域の教育力の向上

施策（１）家庭の教育力の向上		自己評価
ア 家庭教育事業の推進 ・家庭教育学級開催 学校との連携	生涯学習	○
イ 家庭教育への支援 ・家庭教育支援 入学準備金貸付金補助 奨学資金貸付	教育総務	○
施策（２）青少年健全育成の推進		自己評価
ア 青少年が健やかに成長できる環境づくりの推進 ・青少年非行防止活動（青少年育成推進員） 有害図書区分陳列状況巡回確認、夜間パトロール実施など	生涯学習	○
イ 青少年体験活動の推進 ・子ども大学みやしろ 子ども達の知的好奇心に応える場として日本工業大学と協力し講座を開設 ・新みやしろ郷土かるた大会 郷土宮代の歴史、名所、文化などを感じ、郷土愛を育むため実施 競技を通じた仲間づくり、ルールを守ることなど健全育成につながる体験機会を提供	生涯学習	○
ウ 育成団体との連携・支援 ・青少年相談員活動及び子ども会育成連絡協議会との連携（かるた大会他） ・青少年育成推進員活動（非行防止パトロール他） ・青少年健全育成団体支援（特定分野総括助成金）	生涯学習	○

◎令和7年度 新規・拡充事項

令和7年度の執行状況		点検・評価委員意見
▼家庭教育学級の開催 各小学校の就学時健康診断の時間を活用した親の学習会 百間小学校 10/7(火)、東小学校 10/1(水)、笠原小学校 10/1(水)、須賀小学校 10/8(水)		
▼家庭教育への支援 入学準備金補助金 新規申請件数0件 奨学金貸付 新規申請件数0件		・入学準備金補助金、奨学金貸付の新規申請数が0だが、今後も継続していただきたい。 (広報はとてもされている印象。)
令和7年度の執行状況		点検・評価委員意見
▼青少年育成推進員連絡会 総会 6月16日(月) 青少年健全育成駅頭キャンペーン 7月4日(金) 青少年非行防止夜間パトロール 8月23日(土) ※町民まつり時 12月17日(水) 有害図書等取扱店舗の巡視(コンビニエンスストア) 11月18日(火)		
▼子ども大学みやしろの開催(9月7日～11月30日 全5回) 参加者 40名 日程 第1回 9月7日(日) テーマ:「LEDを光らせるアプリを作成してみよう!①」 講師:日本工業大学 先進工学部 糸野文洋 氏他 第2回 9月20日(土) テーマ:「宮代今昔クイズと勾玉づくり」 講師:郷土資料館 文化財保護担当 河井伸一 氏 第3回 10月19日(日) テーマ:「食べて生きよう 災害料理教室」 講師:宮代町赤十字奉仕団 第4回 11月9日(日) テーマ:「SDGsチャレンジ ”学んで作って未来を変えよう”」 講師:日本工業大学 学生環境推進委員会 第5回 11月30日(日) テーマ:「LEDを光らせるアプリを作成してみよう!②」 講師:日本工業大学 先進工学部 糸野文洋 氏		・子ども大学みやしろ、かるた大会は今後も継続をお願いしたい。
▼新みやしろ郷土かるた大会 8月2日(土) 進修館大ホール 49チーム 147名参加		
▼育成団体との連携・支援 ・青少年育成推進員活動(非行防止夜間パトロール他) ・子ども会育成連絡協議会との連携(かるた大会他) ・青少年健全育成団体支援(特定分野総括助成金) 交付団体:宮代町子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト宮代第1団		

基本目標 5 生涯学習とスポーツの振興

施策（1）町民の創意を生かした生涯学習の推進		自己評価
ア 生涯学習の機会の充実 ・みやしろ大学（対象60歳以上）運営委員（5名）を中心とした講義等の企画・運営	生涯学習	○
イ 公民館活動の充実 ・公民館3館の適正管理 利用者の安全と快適な利用環境づくりのため、週2回の巡回点検をはじめ、定期清掃、避難訓練などの実施	生涯学習	○
ウ 図書館活動とサービスの充実 ・町立図書館の管理運営（指定管理者との連携） 指定管理者 図書館流通センター 指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間） 管理業務等に関する報告（随時）、定期打合せ（月1回）の実施 ・図書館システムを活用した小中学校図書室との連携 ・調べる学習コンクールの開催 ・デジタル郷土資料の活用（郷土史講座等） ・第2次図書館ビジョンの実現に向けた取組	生涯学習	○

令和7年度の執行状況	点検・評価委員意見
▼みやしろ大学 【運営委員会】 第1回運営委員会 5月29日(木) 委員 4名 第2回運営委員会 9月 4日(木) 委員 4名 第3回運営委員会 1月15日(木) 委員 3名 【講義日程】 第1回 9月16日(火) テーマ：「からだのなかから元気にいきいき血管講座」 講 師：明治安田生命保険 埼玉東支社 竹野通子 氏 第2回 10月21日(火) テーマ：「クーリング・オフって何？」 講 師：(公)日本訪問販売協会 渡邊 暁子 氏 第3回 12月16日(火) テーマ：「フレイルを予防して健康寿命をのばそう(運動)」 「骨・カルシウムセミナー」 講 師：宮代町プラザサポーター 泰楽恵子 氏・鴨宮敦子 氏 (株)雪印メグミルク 宮後泰子 氏 第4回 1月20(火) テーマ：「身の回りの音について考えてみよう」 講 師：日本工業大学 基幹工学部 大田健紘 氏 第5回 2月17日(火) テーマ：「命を守る“水” 見直そう！水分補給」 講 師：株式会社明治 磯端亜弥 氏	
▼3館(和戸、百間、川端)体制により運営 ()内の数字はR6年度 「地域の身近な学習拠点」として、文化芸術から軽スポーツまで、様々な活動に利用 開館日数：308日 稼働率：42.3%(44.6%) 利用者数：44,304人(42,598人) 利用回数：4,695件(4,949件)	
▼指定管理者による管理運営 ()内の数字はR6年度 指定管理者：(株)図書館流通センター 指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日 ・蔵書数 図書資料 292,523冊(290,969冊) うち一般書 208,826冊(207,825冊) うち児童書 66,909冊(66,611冊) 視聴覚資料 8,320点(8,170点) ・利用実績 開館日数 289日(289日) 貸出者数 70,966人(69,084人) 貸出冊数 233,450冊(232,720冊) ・月例・季節行事等の参加者数 延べ 3,106人(3,106人)	・近隣自治体住民の方からも宮代図書館は利用しやすいとの声がある。

エ 文化芸術の振興 ・みやしろ芸術祭の開催 ◎まちなかどこでもミュージアム事業 - 個人及び団体の活動周知 - 活動応援キットの貸出 - アーティストや文化芸術財団による作品展等の支援	生涯学習	◎
施策（２）人権教育の推進		
ア 地域社会や職域における人権教育の推進 ・宮代町人権教育推進協議会 - 人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくり - 部落差別解消法、障害者差別解消法等の法制定を踏まえた人権教育の実施	生涯学習	○
イ 人権啓発資料の充実 ・啓発資料購入、配布 ・啓発活動	生涯学習	○

▼みやしろ芸術祭2025 会場：進修館、図書館、ほか 11月1日(土)、2日(日) 発表会、アート体験ワークショップ 11月1日(土)～5日(水) 作品展 11月2日(日)～3日(月) 華道展 ほか11月を芸術祭月間とし、パートナーシップ補助金活用事業や他課とのコラボレーション企画を実施。 ※町制施行70周年特別企画として音楽祭「MIYASHIRO MUSIC PARK」を実施 ▼まちなかどこでもミュージアム事業 公共施設等で行われる文化芸術活動を場づくりの面からサポートするため、イスやテーブル等の物品を貸出(2件) 町内アーティストを含む町に関連したアート情報を町ホームページとSNS(X(旧ツイッター)・LINE)を組み合わせ、町内外に広く発信(40件)	
令和7年度の執行状況	点検・評価委員意見
▼各種研修会と宮代町人権教育推進協議会による活動 人権意識の高揚と差別のない明るい社会づくりの推進を図るため、研修会等を通して人権について考える機会を提供 総会及び研修会 6月24日(火) 町立図書館ホール ▼人権作文発表会 12月5日(金) ▼人権啓発講演会 令和8年2月3日(火)	・今後も同様に継続していただきたい。
▼人権文集(あおぞら第31集)の発行 700部	

施策（３）郷土の伝統文化の継承と新しい町民文化の創造		自己評価
ア 文化財保護の推進 ・文化財保護、保存 - 文化財保護委員会の開催（町指定文化財の審議等）	生涯学習	○
イ 遺跡の保護と調査研究の推進 ・埋蔵文化財発掘調査 - 文化財保護法に基づく、試掘調査、発掘調査、整理作業	生涯学習	○
ウ 文化財の活用と郷土学習の推進 ・歴史講座、こども体験講座の実施 - 夏休みを中心として各種の講座の実施 ・企画展、特別展の開催 ・文化財案内板設置	生涯学習	○

令和7年度の執行状況		点検・評価委員意見
【町内に残る貴重な文化財の保護と、文化財に対する調査】 ▼文化財保護委員会の運営（委員7名） 年3回 第1回 6月18日（水） 主な内容：令和6年度事業報告、令和7年度事業計画、指定文化財の候補の検討、文化財案内板設置箇所の検討、その他 第2回 12月14日（日） 主な内容：次回宝生院文化財調査項目の確認、文化財案内板設置場所について、来期文化財保護委員会の公募について、特別展「笠原沼の造成と新田開発」について 第3回 令和8年3月21日（土） 主な内容：宝生院文化財現地調査、調査後の意見交換、その他		
【文化財保護法に基づく、試掘調査、発掘調査、整理作業】 ▼埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘 4件 個人住宅等の建設及び確認調査 （山崎南遺跡、東条原宿屋敷遺跡、藤曾根遺跡、宝光寺遺跡） ▼遺跡の記録保存のために行われる発掘調査 0件（当該遺跡：なし） ▼埋蔵文化財の遺物整理 平成29年、令和3年度道仏遺跡の整理作業を実施		
▼町内に残る貴重な文化財を保護するための啓発活動 各種講座・体験学習教室 7月24日～8月8日 夏休み体験学習「郷土資料館へ行こう！」 ●まがたま作り●縄文ペンダントづくり●しぼり染めハンカチづくり ●組みひもブレスレットづくり●あじろあみコースターづくり 小・中学生対象 参加者 延べ108名 8月2日 かやぶき民家で聞く昔話 小学生以上対象 参加者27名 11月16日 「西原自然の森フェスタ2025」 ●縄文マグネットづくり 一般対象 来場者数 計37名 ●町指定文化財 旧進修館特別公開 計78名 ●加藤家音楽会 ●放課後駄菓子屋ふさや 11月24日 移築民家と「アタラシイ」ゲキ20 一般対象 来場者数 15名 11月29日 ひとりがたり「村の寶」 21名 3月21日 御朱印帳づくり 8名 3月20日 歴史講座「西光院の歴史と文化財」 一般対象 計42名 ▼文化財案内板設置 「西光院」と「東条原鷺宮神社」に文化財案内板を設置		

▼開館実績 日数280日 利用者総数10,598人 ▼普及、啓発事業の実施 郷土資料館のホームページを通じた宮代町の歴史、文化財の紹介 文化財・建造物調査報告書、古文書史料集、郷土史料など書籍として刊行されていない資料をPDFで公開 ▼特別展・企画展の開催 企画展「発掘された地藏院遺跡」 3月15日～7月6日 2,467人（4月～7月6日分） 企画展「宮代町70年のあゆみ」 7月12日～10月19日 3,432人 特別展「笠原沼の造成と新田開発」 10月25日～12月21日 2,379人 企画展「東部地区文化財担当者会40周年記念リレー展『埼玉県東部地区の奈良時代・平安時代』」 1月6日～3月1日 1,540人 企画展「祈りと おふだ」 3月7日～7月5日 780人（3月7日～3月31日） ▼古文書・民俗資料の整理 新寄贈民具などの整理作業、諸家文書の整理作業 ▼各種研修受け入れ 中学生職場体験 杉戸中学校 9月9日～10日 3名、百間中学校 11月12日～13日 2名 須賀中学校 11月20日～21日 2名 前原中学校 11月26日～27日 2名 西原自然の森活用事業（移築民家活用編） ▼旧進修館特別公開 6月15日 13名 ▼ひとりがたり「村の寶」11月29日 21名 ▼西原自然の森フェスタ2025 ●縄文マグネットづくり 一般対象 参加者数計37名 ●旧進修館特別公開 参加者 計78名 ●加藤家音楽会 ●放課後駄菓子屋ふさや	・郷土資料館の特別展、イベントは今後も継続していただきたい。
---	---------------------------------------

施策（４）地域スポーツの振興		自己評価
ア 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進 ・スポーツフェスティバル（１０月１３日予定） - 町民の健康増進、体力の向上、生きがいつくりと地域コミュニティの醸成 ・各種スポーツ大会・教室	生涯学習	○
イ 誰でも気軽に参加できる健康・体力づくり活動の推進 ・あそびと運動（対象：小学生） ・大人のスポーツフィールド（対象：小学校４年生以上） ・出前講座 ・新体力テスト	生涯学習	○

◎令和7年度 新規・拡充事項

令和7年度の執行状況	点検・評価委員意見
▼町民スポーツフェスティバル2025 10月12日(日) 会場：宮代町総合運動公園 参加者数：延べ3,504人 協力団体：22団体(他飲食店6店舗) 実施種目：22種目 ※町制施行70周年特別企画/「人文字」、「玉入れ」を実施 ▼町民スポーツ大会 実施期間：6月～11月 種 目：6競技(野球、剣道、ソフトボール、硬式テニス、卓球、サッカー) ※サッカーは中止 ▼第52回年少者スキー教室 期日：2月7日(土)～8日(日) 会場：湯ノ丸スキー場(長野県) 参加者数：66名(小学校5・6年生) ▼少年少女スポーツ振興事業 ・少年少女スポーツフェスティバル 6月15日(日) ・少年少女ロードレース大会 2月14日(土)	・様々なイベントが開催され、参加もしやすいと思われ、評価できる。 ・総合運動公園や学校開放により、スポーツの場や機会に恵まれていると思う。
▼あそびと運動 6月28日(土) アーチェリー 5名 7月5日(土) モルック 中止 12月13日(土) ソフトラクロス 中止 1月31日(土) モルック 3名 2月 1日(土) 浦和レッズサッカー 13名 3月 8日(土) バドミントン 18名 合計 4回 39名 ▼大人のスポーツフィールド 全9回 4月19日(土)、5月17日(土)、7月19日(土)、10月18日(土)、11月15日(土)、 12月20日(土)、1月17日(土)、2月15日(土)、3月14日(土) 種 目：さいかつぼーる、ミニテニス、ピククルボール 参加者数：合計46名 ▼出前講座 全5回 ニューススポーツ体験(ボッチャ、モルック)、体力テスト ▼新体力テスト 10月26日(日) 参加者数：6名 ▼ウォーキング 「てくてくみやしろ2025」 5月24日(土) 参加者数：9名 親子向け 11月 8日(土) 参加者数：8名 大人向け	

ウ スポーツ施設の運営と利用促進 ・町営グラウンド、テニスコート、アーチェリー場の適正管理 地域の身近な運動広場として、草刈や修繕など適切な管理を行い、 スポーツ活動や地域コミュニティ醸成のため地域活動などにも利用 ・ぐるる宮代の管理運営（指定管理者との連携） 指定管理者 ミズノグループ 代表企業 美津濃株式会社 指定期間 令和5年4月1日～令和15年3月31日（10年間） 管理業務等に関する報告（随時）、定期打合せ（月1回）の実施 ◎総合運動公園施設設備工事 ・総合体育館照明LED化工事、総合体育館トイレ洋式化工事、 野球場バックネット防護壁修繕工事	生涯学習	○
エ 学校体育施設利用の促進 ・学校施設開放（体育館、グラウンド）	生涯学習	○
オ スポーツ指導者の養成と団体支援 ・スポーツ推進委員活動（各種研修機会等の提供） ・スポーツレクリエーション団体支援（特定分野総括助成） スポーツ協会及びスポーツ少年団の広報活動、各加盟団体活動費等を助成	生涯学習	○

▼社会体育施設 グラウンド（東、前原、宮東、東条原）、宮東テニスコート、山崎アーチェリー場 利用者数 47,448人（R6年度 46,672人） ▼総合運動公園の管理運営 指定管理者：ミズノグループ 指定期間：令和5年4月1日～令和15年3月31日 運営状況 開館日数：311日 利用者総数：207,553人（204,624人） 自主事業の実施 参加者延べ人数：49,130人（48,740人） テニス教室、水泳教室、バドミントン教室、バスケットボール教室、健康体操等	・施設については、経年劣化で補修が必要ないところもあるかと思う。その際は安全のために、早めの対応をお願いしたい。
▼学校体育施設開放（夜間及び土日祝日の開放） 体育館（各小中学校）、集会室（笠原小学校）、グラウンド（各小学校） 夜間照明（前原中学校） グラウンド 900件 20,824人 体育館等 1,947件 35,374人	
▼スポーツ推進員活動（推進委員7名） ・定例会 毎月1回、計12回開催 ・協力事業 - あそびと運動（小学生対象）計4回 - 大人のスポーツフィールド 計9回 - 町民スポーツフェスティバル2025 10月12日（日） - 出前講座 計5回 ▼特定分野総括助成金の交付 市民団体との継続的な協働により、町のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、関係団体に対し助成金を交付 交付団体：宮代町スポーツ協会、宮代町スポーツ少年団	